

「JENESYS2020」

2021 年度中国青年公益事業交流団オンライン交流（テーマ:スポーツ）の記録

1. オンライン交流概要

【目的】本交流は、中国の政府機関や企業、大学で、さまざまな分野の公益事業・ボランティアに従事する青年が、日本の同分野の関係者とテーマ別にオンラインで交流活動を行うもので、本プログラムは「スポーツ」をテーマとし、日本のスポーツ推進に関する取り組みやスポーツボランティア（東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティア経験）の現状等について理解を深めるとともに、日中両国の友好促進を図ることを目的として実施しました。

【参加者】 1 回目: 中国側: 公益事業・ボランティアに従事する大学生等 30 名

日本側: 日本財団ボランティアサポートセンター 1 名

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ボランティア経験者 21 名

2 回目: 中国側: 公益事業・ボランティアに従事する大学生等 26 名

日本側: スポーツ庁 1 名

【日程】

| 日にち 訪問地 | 内容 | 参加者の質問・反応（参加者の人数実績） |
|-----------------------------------|---|--|
| 1 回目 2022 年 1 月 18 日 東京都 | <p>【テーマ関連講義・発表・意見交換】</p> <p>①日本側挨拶、中国側挨拶</p> <p>②中国側より北京冬季オリンピック・パラリンピック大会ボランティアについて紹介</p> <p>③日本財団ボランティアサポートセンター概要紹介、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ボランティアの研修について紹介 講師: 日本財団ボランティアサポートセンター</p> <p>④グループ交流 6 グループに分かれ、日本側参加者より東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ボランティア経験・感想等の紹介、中国側参加者より北京冬季オリンピック大会ボランティアの活動内容・ボランティア参加にあたっての心境等の発表、質疑応答・意見交換</p> <p>⑤交流の成果発表</p> | <p>スポーツボランティア活動への前向きな気持ちを保つにはどうしたらよいか、希望しない任務にどのように向き合えばよいか等、中国側参加者は東京大会の経験を参考にしたいと熱心に日本側に質問していました。また、ボランティア活動での課題を共有するなどして、日中のボランティアが交流を深め、東京の経験を北京に繋げることができました。</p> <p>交流終了後、日本側参加者等から北京冬季オリンピック・パラリンピックのボランティアに向けて、応援メッセージが送られ、日中ボランティアの友好の輪が広がりました。 (参加者: 中国側 30 名、日本側 22 名)</p> |

| | | |
|--|---|---|
| <p>2回目 2022年 1月21日 東京都</p> | <p>【テーマ関連講義・質疑応答】 「スポーツを通じた健康増進～Sport in Lifeを目指して～」 講師：スポーツ庁健康スポーツ課 ①Sport in Lifeを目指した取り組み、事例について聴講 ②質疑応答</p> | <p>児童向けのスポーツ参加を促進する取り組みはあるか、マイナーなスポーツを盛り上げる取り組みはあるか等、スポーツ推進の取り組みについて、質問が多数ありました。 (参加者:中国側26名、日本側1名)</p> |
|--|---|---|

2. 記録写真

| | |
|--|---|
| | |
| <p>2022年1月18日 【テーマ関連講義・発表・意見交換】 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティアについて紹介</p> | <p>2022年1月18日 【テーマ関連講義・発表・意見交換】 グループ交流、意見交換</p> |
| | |
| <p>2022年1月21日 【テーマ関連講義・質疑応答】 「スポーツを通じた健康増進～Sport in Lifeを目指して～」</p> | |

3. 中国側参加者の感想（抜粋）

◆北京大会ボランティア 学生

日本側から東京オリンピックのボランティア経験を共有してもらい、スポーツ庁の講師から丁寧な説明を受けたことにより、北京大会の秩序ある進行をサポートするための具体的な行動や心構え等、多くのことを学ぶことができました。今回のオンライン交流は、間もなく始まる2022年北京冬季オリンピックに赴く者にとって大いに役立つと思います。

◆北京大会ボランティア 学生

コロナ禍で国際移動ができない中で、日本の方々とお話できる機会をいただいたことをありがたく思っています。今回のイベントでは、実際に東京2020オリンピックでボランティア活動をされた方々に経験談や感想などを聞かせていただき、大変勉強になりました。自分は北京冬季オリンピックでボランティアとして活動していきますが、皆さんのお話を聞いて、不安がある程度解消されたり、これからのボランティア活動への期待が高まったりしました。本当にありがとうございました。これからも交流できるチャンスをいただければと思います。

◆大学生

東京オリンピックのボランティアたちと顔を合わせて交流しましたが、このような機会は本当に貴重で、彼らから多くのことを学びました。今後もこのように日本の友人と顔を合わせて交流できる機会がもっとあるといいと思います。また、オリンピックに関わる中日両国の関係者から説明いただき、経験を共有できたことも非常によかったです。これからもっと積極的にボランティア活動に参加し、日本文化を更に理解して、中日友好交流のために力を尽くしたいと思います。コロナが早く過ぎ去り、一日も早くオフラインで会うことができることを心から願っています。

◆北京大会ボランティア 学生

これまで日本人と交流することは少なかったのですが、今回のグループ交流は、みんなが笑顔で話し合い、和やかな雰囲気で行われ、日本の友人との心の距離が近づいた気がしました。今後機会があれば、もっと積極的に他の日本の友人とも交流して、互いに理解を深めたいと思います。

◆北京大会ボランティア 学生

テーマについて日本の関係者と直接交流し、多くの情報や資料を得ることができました。ブリーフでは、講師が参加者の質問に詳しく回答してくださり、多くのことを学ぶことができました。

4. 日本側参加者の感想（抜粋）

◆東京大会ボランティア経験者

今回このイベントに参加して、BEIJING2022に参加されるボランティアの皆さんがとても前向きに大会を捉えていたので、こちらまでワクワクし大会が更に楽しみになりました！！

メディアでは、なかなかBEIJING2022ボランティアの現状を見聞きできなかったので直接交流できたのは本当に貴重で嬉しく、大会にはTOKYO2020のレガシーが活かされている部分も多く見受けられたので、お互い協力して作れる部分があるのであればもっと協力していきたいなと感じました。

このイベントを通してTOKYO2020の経験をBEIJING2022に参加されるボランティアの皆さんと共有したことで、BEIJING2022のボランティアの皆さんの活動が更に楽しく忘れられないボランティア活動になればいいなと願っています。

◆東京大会ボランティア経験者

今回の交流事業への参加を通じ、改めて人と繋がるのが何よりも楽しいのだと気付きました。グループメンバーと会話をするのは初めてであったが、同じテーマについて話し意見を交換したことによって、自分にはなかった見方や考え方を得ることができたし、何よりもとても楽しかった。コロナ禍で海

外の人との交流も減少している中、交流がこんなにも人と人の輪を繋ぐ役割があるのだと改めて実感した。この交流事業が、東京 2020 オリンピック・パラリンピックと北京 2022 オリンピック・パラリンピックを繋ぐ役割を担えていたらとても嬉しい。またこのような交流事業があればぜひ参加したい！とても楽しかったです！

◆東京大会ボランティア経験者

中国の友人もおらず、中国語のニュースサイトは中国語/英語で読むことがなかなかできないため、北京五輪ボランティアの活動について知る機会がほとんどありませんでした。今回のオンライン交流会で取り組みについて知ることができ共通点や違うところが知れて楽しかったです。

また、学生のみなさんと交流をしてみて「大会参加前の日本のボランティアと同じような不安を北京大会のボランティアのみなさんは抱えているんだな」ということがわかりました。実際にコロナ禍の大会を終えた私達日本側のボランティアが当時を振り返り寄り添うことで、不安な気持ちをわくわくに変えるお手伝いできたような、そんな場が今回の交流会だったように思います。

大会に向けて努力を重ねている中国側参加者のみなさんのお話を聞いて、私もこれからボランティア活動を続けていく上でさらに頑張っていこうと刺激をもらうことができました。

◆スポーツ庁関係者

学生がよく勉強されており、オンラインを通して熱心に参加してくださっている様子が伝わってきてよかったです。

5. 参加者の対外発信、報道記事等



中国宋庆龄基金会副主席于群通过视频方式为活动致开幕辞

1月18日,中国宋庆龄基金会和日中友好会馆共同主办的中日青年交流线上活动在中国宋庆龄青少年科技文化交流中心举行。此次交流活动以“体育文化”为主题,日方20名参加过东京奥运会的志愿者,中方30名即将服务北京冬奥会、冬残奥会的志愿者和社会公益事业的青年代表参加活动。

中国宋庆龄基金会副主席于群在开幕致辞中表示,今年是中日邦交正常化50周年,我们要重温邦交正常化的初心,接续中日友好合作的使命。双方要发挥中日两国地理相近、文化相通的独特优势,在未来举办更多生动立体、与时俱进和有温度、暖人心的交流活动,为中日关系发展夯实基础、增强动力,开辟新时代两国关系的美好前景。衷心希望中日青年朋友能继续加强交流互鉴,加深友谊,成为中日友好合作的生力军,为中日友好关系发展作出新的更大贡献。



日中友好会馆事务局长荻原芽致辞

日中友好会馆事务局长荻原芽表示，希望中日青年通过此次交流加深对体育志愿者活动，特别是对奥运会志愿者活动的理解，分享彼此的经验及期望。北京冬奥组委志愿者部招募管理处处长任炜介绍了北京冬奥会和冬残奥会志愿者有关工作，日本财团志愿者支援中心项目协调员山本和树介绍了东京奥运会和残奥会志愿者相关工作经验。



中日双方青年代表热烈交流

接下来，中日双方青年代表分为6组，进行线上交流。大家踊跃发言，活动现场气氛十分热烈。中方代表介绍了参加北京冬奥会志愿者活动和相关培训的感受，日方代表分享了参加东京奥运会和残奥会的经验。日方志愿者代表五十岚弘直曾担任选手村的司机，他通过照片回顾了为运动员服务的生动场景，展现了勇气与微笑在志愿服务中的力量。

刘嘉瑶是唯一一位“双奥志愿者”，既是东京奥运会的志愿者，这次又参加了北京冬奥会的志愿工作。她在代表小组分享交流成果时说，日本青年分享的志愿服务经验对于中方冬奥会的志愿者们来说非常及时，将很好借鉴这些经验，为北京冬奥会提供更加优质、专业的服务。

今年是“中日文化体育交流年”，双方合作机构正在策划实施的以“体育文化”“环境保护”和“志愿精神”为主题的6场交流活动，将为两国青年朋友搭建一个很好的交流平台，有利于中国青年更全面地了解日本，日本青年更深入地感知中国。

2022年1月20日（中国宋慶齡基金会 HP）

「中国宋慶齡基金会が中国青年公益事業交流団オンライン交流を実施」

スポーツをテーマに東京大会ボランティアと北京冬季大会ボランティア予定者が交流を行った内容について紹介されました。

| | |
|--|--|
| <p>ボランティア「楽しんで」北京五輪パラ向け日中交流</p>  <p>北京五輪パラリンピックを目前に、中国のボランティア予定者の準備に熱が入っている。東京大会の経験者との交流をオンラインで日中交流、中国の学生が活動する上での課題や解決策を学ぶ。日本側は「かかれないと全方で楽しんでほしい」と励ました。</p> <p>日中友好会館（東京）などが主催、東京大会の経験者が主眼、北京大会の経験者との交流をオンラインで日中交流、中国の学生が活動する上での課題や解決策を学ぶ。日本側は「かかれないと全方で楽しんでほしい」と励ました。</p> <p>東京大会で研修に携わった日本側ボランティアが</p> | <p>東京の経験 北京にバトン 若者ら交流会</p> <p>北京大会の学生ボランティアたちに東京大会の経験を生かしてもらおうと、日中の若者ら約50人が交流するオンラインイベントが1月中旬にあった。日中友好会館などが主催した。</p> <p>東京大会でボランティアなどの人材管理を担当した明海大学社会学部の鈴木雅哉さん(24)が「五輪の裏側まで見ることができた。限られた機会なので、悔いの残らない経験にしてほしい」と報告。会場スタッフとして有名選手を先導して「緊張した」という体験談や、相手のお国柄によって対応を変える必要があるといった意見も出た。</p> <p>中国側の学生から出た質問は、新型コロナ対策について。「感染対策はどうしていたのか」と尋ねられた日本側の参加者は、「マスクや手洗いなど、自分自身でできる基本的な対策を徹底していた」と応じた。日本側の参加者によると、外国人選手の中でマスクをきちんと着けない人がいた場合など、不安を感じている人もいたという。(河藤佑介、畑宗太郎)</p> |
| <p>2022年1月23日（福井新聞） 「ボランティア「楽しんで」北京五輪パラ向け日中交流」東京大会ボランティアの経験を中国の学生へ伝えた交流の内容について紹介されました。</p> | <p>2022年2月4日（朝日新聞） 「東京の経験北京にバトン 若者ら交流会」東京大会ボランティアの経験を中国の学生へ伝えた交流の内容について紹介されました。</p> |

実施団体名：公益財団法人日中友好会館